

## 可茂農林事務所の普及活動状況（4月HP版）

### 今月の重点活動

#### ■富加町 今年の水田営農に向けて

今年も水稲の作付準備が始まっていますが、管内の水稲は2年連続で前年作柄を下回っていて、安定生産が求められています。

富加町では、ジャンボタニシ駆除に取り組まれており、4月21日の農事改良組合長会において、農林事務所から防除の適期や薬剤の適正使用等について説明を行いました。また近年、富加町をはじめ管内で水稲の不稔現象(実が入っていない)が発生しています。一般的には、高温の他にカメムシや病害など複数の要因が考えられていますが、原因の特定には至っていません。そのため、まずは症状の確認を行うことが先決であること、現段階で可能な対策として水管理や防除などが大切であることについて説明を行いました。

農林事務所では今後、水稲不稔の原因究明に向けて関係機関と連携を取りながら調査を行うとともに、高温耐性品種の「あきさかり」実証圃を設置するなど、対策の具体化にも取り組みます。  
(地域支援第一係・峯村 晃)

### ぎふ農業・農村を支える人材育成

#### ■可茂地区指導農業士会 通常総会の開催

県では、農村青少年の育成の熱意と高度な農業技術及び経営能力を有する農業者を「岐阜県指導農業士」として認定し、可茂地区では10名の方々が各方面で活躍されています。

4月21日に、「令和3年度可茂地区指導農業士会総会」が美濃加茂市内において開催されました。総会では、担い手確保につなげるよう農大生や農業高校生の研修受け入れ等の活動が承認されました。農林事務所では、スムーズな研修受け入れが行えるよう指導農業士会や学校との連携、研修期間中の学生訪問を継続します。

(地域支援第二係・山田隆史)



【総会の様子】

#### ■可茂地区指導農業士会 感謝状の贈呈と認定証の授与

4月21日に開催された可茂地区指導農業士会総会において、令和2年度末に退任された指導農業士1名に対し、農林事務所長及び可茂地区指導農業士会長から感謝状を贈呈し、新たに認定された指導農業士1名へは農林事務所長から認定証の授与を行いました。農林事務所長からは、長年の担い手育成などへのお力添えへの感謝と新たに認定された指導農業士へは、地域農業発展のための活動への期待をお伝えしました。

農林事務所では退任された農業士とも協力し、各指導農業士の方々が地域のリーダーとして幅広く活躍いただけるよう一層の連携を図っていきます。  
(地域支援第二係・山田隆史)



【感謝状贈呈の様子】

## ■みのかもファーマーズ倶楽部 令和3年度初会合を開催

美濃加茂市内の若手生産者が中心となって生産者間の勉強会、地元消費者との交流などに取り組んでいる「みのかもファーマーズ倶楽部」は12年目の活動を迎えられました。

昨年度は新型コロナ対策のため、活動休止状態でしたが、4月6日に（有）春見ライスのハウスにおいて、令和3年度初の会合が開催されました。

今年度は新規メンバーも1名増え、関係機関（市・農協・農林事務所）からの情報提供と今後の活動について検討を行いました。当面は、一同に集まっての勉強会などは難しい状況ですので、会員からはオンラインでの実施も提案されました。農林事務所では、新型コロナの状況を考慮しながら、関係機関と連携しながら活動への支援を継続します。

（地域支援第一係・鷲見 彩子）

## ぎふ農畜水産物のブランド展開

### ■夏秋トマト 健全な苗づくりに向けて

美濃白川夏秋トマト部会（33戸：白川町・東白川村）を中心とした管内の夏秋トマト栽培が始まりました。4月に入り、育苗管理や定植用ハウスの準備を進めており、農林事務所では、昨年問題となった病害（すすかび病、疫病、褐色輪紋病）への対策として、資材の消毒や育苗期からの定期的な予防的防除をお願いしています。今年度は、青枯病耐性を持つ新たな台木の試験や、環境測定機器によって得られたデータの活用などにより産地の生産性向上を目指していきます。

（園芸産地支援係・矢嶋雄二）



【生産者の育苗管理の様子】

### ■東白川村 露地アスパラガス産地視察研修会

4月15日に東白川村園芸振興会では、郡上市高鷲町のたかすアスパラ生産組合の露地栽培ほ場を視察されました。

東白川村園芸振興会では、新たな園芸品目の普及推進を目指して3年前よりアスパラガスの試験栽培に取り組まれています。

視察には、試作している4名の生産者と関係機関が参加し、栽培管理方法や病害虫対策等の栽培上の課題について熱心に質問し、有意義な研修会となりました。今後は農林事務所において、5月下旬に栽培研修会を行うなど、新たな品目の定着に向けて支援を行っていきます。

（地域支援第二係・黒川純子）



【視察の様子】

### ■梨 開花盛期、管理情報の提供による産地支援

美濃加茂市山之上地域では、梨が平年よりも約10日早く開花期を迎えました。農林事務所では、生産者の方に対して近年の変動の大きい気候に対応した生育ステージに適期の栽培管理を行うことができるよう、関係機関と連携して、生育状況や今後の栽培管理に関する情報を提供しました。今後も管理情報を提供し、果樹産地の生産性向上に向けた支援を継続します。

（園芸産地支援係・水野文敬）



【開花盛期の梨園】